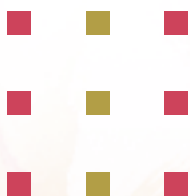
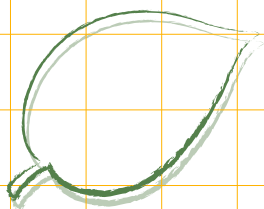


検査を受けないとわからない  
健康問題がココにある

# やってみる？

Y A T T E M I R U ?





## HIV検査を 希望される方へ

HIV感染症の治療が近年急速に進歩してきました。このため、より早くHIV感染症を見つけることが重要となっています。このパンフレットに並べられている病気や症状がある場合には、HIV感染症についても調べることをおすすめします。

注)これらがあるからといって、必ずHIV感染症だというわけではありません。

# このパンフレットの 内容について



HIVに感染すると、なぜ病気になるのでしょうか？  
それは、HIV感染症が感染した人の免疫を低下させて  
しまうからです。

一般に「AIDS(エイズ)」といわれている病気は、後天  
性免疫不全症候群の略で、HIVに感染して免疫が著し  
く低下することによりいろいろな病気を発症します。

## 医師の方へ

本パンフレットは、HIV感染症を早期に診断することを目的に作ら  
れた資料です。AIDS指標疾患以外にも、HIV感染症の可能性を考  
え抗体検査を行った方がよい疾患や症状があります。ここでは、免  
疫低下や性感染症等に関連してHIV感染症がわかるきっかけとな  
る疾患や症状もまとめました。各項目にはチェック欄があり、患者  
さんに抗体検査をすすめやすく工夫されています。是非ご利用く  
ださい。

なお、それぞれの疾患を診断するヒントをまとめた以下の冊子も  
準備しました。「見おとし注意!」～HIV感染症を早期に診断する  
ヒント～早期診断のため、こちらも是非あわせてご利用ください\*。

## 「AIDS発症の指標疾患」

HIV感染症が進行すると、免疫が著しく低下してしまい、い  
ろいろな病気を発症することがあります。特に重要なもの  
はAIDS発症の指標疾患と呼ばれ、それら疾患を発症した  
時点でAIDS発症と診断するように定義されています。

AIDS発症の指標疾患として代表的なものには、以下のよ  
うなものがあります。(実際には20以上の疾患が定義され  
ています。)

- カリニ肺炎はいえん
- カポジ肉腫にくしゅ
- サイトメガロウイルス
- カンジダ食道炎しょくどうえん
- トキソプラズマ脳炎のうえん
- MAC感染症<非定型抗酸菌症>ひていけいこうさんきんしょう
- クリプトコッカス髄膜炎すいまくえん
- その他 疾患名 \_\_\_\_\_

\*冊子は2005年3月発行予定です。

HIV感染症の治療は、近年急速に進歩してきました。このため、病気が進行してAIDS指標疾患を発症してしまう前に、HIV感染症と診断される方が望ましいとされています。以下は、それらをきっかけとしてHIV感染症が見つかることのある病気や症状です。これらの診断を受けたことがある場合は、是非一度、HIV感染症の検査（抗体検査）を受けることをおすすめします。

(注:それらの病気や症状があるからといって、必ずHIV感染症であるというわけではありません)

## A) 通常でも発症するが、HIV感染があるとさらに起こりやすくなるもの

- 結核けっかく
- 口腔内カンジダ症こうくうない
- 帯状疱疹たいじょうほうしん (特に、若い人の発症や、繰り返し発症した場合には注意)
- 伝染性軟属腫でんせんせいなんぞくしゅ (いわゆる水イボ。難治性で多発しやすい)
- 脂漏性皮膚炎しろうせいひふえん
- 乾癬かんせん (特に難治性の場合)
- 掻痒性丘疹そうようせいきゅうしん (多発性でステロイド治療等でも治りにくい)
- 原因不明で長期に続く発熱 (HIVや合併疾患での発熱を疑う)
- 長期に続く原因不明の下痢 (HIVや合併する疾患による下痢の可能性あり)

## B) 性行為に関連して起こるため、HIV感染についても調べてみた方がよい病気

- アメーバ感染症かんのうよう (腸炎、肝膿瘍)
- 梅毒ばいどく
- A型肝炎あがへんえん (特に性交渉にともない便を介しての感染が疑われた場合)
- B型肝炎びがへんえん (性感染としての発症が疑われた場合)
- 淋病りんびょう
- クラミジア感染症
- 尖圭コンジロームせんけい
- ヘルペス感染症 (肛門部、陰部)
- HIVに伴う急性感染が疑われる場合 (注1)

(注1) HIVの急性感染: 感染のリスクのある性交渉から2~3ヶ月以内に、発熱、リンパ節腫脹、扁桃腫大、難治性の口腔内潰瘍、発疹等が出現した状態を急性感染とよんでいる。血液検査では白血球や血小板の減少、肝機能障害などを示しやすい。抗体検査の評価には注意が必要である。

備考: ライター症候群(注2)がきっかけでわかった例もある。

(注2) ライター症候群: 非対称性の関節炎、尿道炎、結膜炎、皮膚粘膜病変をともなう疾患で、HIV感染症が存在していると発症しやすい。

# 検査情報

無料のHIV検査をご利用ください。  
名前や住所などの個人情報不要。  
その日のうちに結果のわかる「迅速(即日)検査」もあります。

## よくある検査希望理由

- 予防をしないセックスが過去にあったから
- 今後の健康のために
- 新しいパートナーができたので
- 妊娠を計画している
- 留学や海外出張で検査が必要

## 検査機関検索サイト

# 「HIV検査・相談マップ」

<http://www.hivkensa.com>

パソコン、携帯電話の両方からアクセス可能



このパンフレットを入手ご希望の方は、  
以下よりお申し込みください。

<http://www.hivcare.jp/>

監修：今村顕史 東京都立駒込病院  
協力：ブリストル・マイヤーズ株式会社